



丹後地域 リハビリ通信

第12号

～うさぎのブランコ～

編集／発行

丹後地域リハビリテーション支援センター

(公益財団法人 丹後中央病院リハビリテーション科内)

〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302

e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com

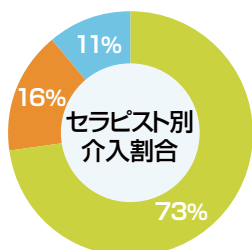
http://www.tangohp.com/tangoshien.html

ホームページよりPDF形式でご覧いただく
ことができます

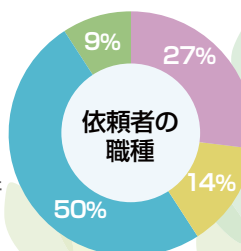
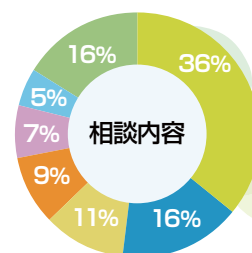
2012 事業報告

訪問相談事業

相談件数 45件



介護士 12件
看護師 6件
ケアマネ 22件
保健師 4件



運動指導 16件
住宅改修 7件
歩行補助具の選定 5件
介護方法 4件
嚥下評価 3件
座位ポジショニング 2件
その他 7件

研修会

平成24年11月27日(火) 58名参加

「口から食べる」を支えよう
～のみこみやすい食事とは～

実践交流会

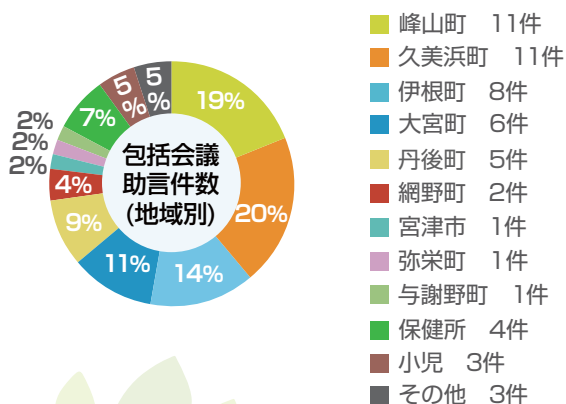
平成24年 3月7日(水) 109名参加

お気軽サミットin丹後
講演

実践報告(3施設)、展示、相談、リハビリ川柳

地域包括支援センター等に対する 助言・相談

助言・相談件数 60件



情報提供

- 広報誌 うさぎのブランコ
9号(5月)、10号(10月)、11号(2月)
- ホームページの更新

事例検討会

第1回 平成24年8月21日(火) 38名参加

「丹後における障害児リハビリテーションの
現状と課題」

第2回 平成24年10月30日(火) 51名参加

「長寿苑における車いすの現状と課題・今後の
取込みについて」

第3回 平成24年12月19日(水) 45名参加

「口から食べる」を支えよう
～摂食嚥下の評価と訓練～

第4回 平成25年2月16日(土) 33名参加

「セルフトレーニングにつなげる為の評価と治療
～脳血管疾患の症例を通して～」

平成24年 第4回事例検討会開催の報告

今回はじめてセラピスト対象の事例検討会を行いました。

丹後圏域のセラピスト(5名)に参加頂き、事例を通して
脳血管疾患の評価治療について学びました

日時：平成25年2月16日(土曜日)

講義：「セルフトレーニングにつなげる為の評価と治療」

講師：大道会 森之宮病院

理学療法士 リハビリテーション部主任

木野本 誠 氏

運動の前には姿勢を安定
させる必要がある。
そのメカニズムを理解し、
評価、治療していくことが
重要である



講習会内容(実技) 手を前に伸ばす動作



伸ばして安定



健常人は動かす手とは反対側の身体を伸ばして安定

例

左手を前に伸ばす時は右側の身体が伸びて安定



縮めて固定



脳血管疾患の患者さんは動かす手とは反対側の身体を縮めて固定しやすい

例

左手(麻痺側)を前に伸ばす時は右側(非麻痺側)の身体が縮み固定→結果として左の手が曲がり使用できない!

セルフトレーニングとして…



右上肢を拳上する様なセルフトレーニングで右側の身体を伸ばす練習を実施して頂き、その後、左上肢の操作、下肢の拳上などの運動を行う。

「伊根町のリハビリを考える会」報告

リハビリテーションの専門的な資源がない伊根町で「伊根町のリハビリを考える会」を立ち上げ、これまでリハビリに関する地区把握、今後の取り組みの方向や内容について検討をしてきました。また、介護職などがリハビリの視点を持ったサービス提供ができるように、伊根町関係者に向けた事例検討会を実施してきました。

伊根町では25年度は「伊根町保健・福祉・医療ネットワーク会議」の下部組織として「伊根町のリハビリを考える会」を位置づけ、下記のような取り組みを進めていく予定です。

10年後には高齢社会が売りの伊根町に リハビリテーションが地域を変える!!

- 老人クラブへの理学療法士による学習会の実施
- サロン未実施地区でのサロン開設に向けた検討
- 伊根町元気に歩こう筋肉プロジェクトの実施
(京大・ネスレ・伊根町の産官学連携研究事業)
- 長寿生き生き研究事業(府立医大研究事業共催)の実施
- 看護介護スタッフ向けリハビリ研修の開催
- 30歳の成人式の開催検討
(若い方の意見を取り入れ各分野への波及のきっかけづくり)

など



福祉用具紹介 ②



アシスタント座イス
【メーカー】コクヨファニチャー株式会社

「アシスタント座イス」は、座面が電動で上下することにより高齢者や身体障害者の立ちすわりを補助する機能を持ったイスです。

point 1 坐ったまま無段階で昇格します。(坐面高11.5～50cm)

point 2 床からの立ちあがりすわりこみが困難な方に適します。

point 3 介護保険でのレンタルが可能です。

地域リハセンではこれらの福祉用具を実際に試してみることができます。
電話・FAXでお問い合わせください。

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302

報告

地域リハビリテーション実践交流会 お気軽サミットin丹後2013

開催日:平成25年3月7日(水)
10:00~16:30
場所:野田川わーくばる

今回で6回目を迎えた「お気軽サミットin丹後」

今年は初めて1日を通した開催とし、**112**名の方に参加頂きました。

実践報告

～丹後の各地で実践されている
地域リハビリテーションあれこれ～



「個別リハビリの取組～地域リハセンを活用して～」

平成24年1月から丹後地域リハビリテーション支援センターの指導を受けています。
「生活リハビリ委員会」の活性と意識改革が進み、ご利用者さんにも良い変化がみられています。

特別養護老人ホーム海山園 生活相談員

糸井良太氏

「西原医院の勉強会～地域をつなぐつどの場～」

西原医院では「自宅で死のう」を合言葉に訪問看護と訪問診療をしています。宮津市内にはリハビリ関連の施設がなく、院長の発案で運動療法の先生を呼び体操指導やスタッフ勉強会を始めました。
今は地域のセラピストを講師に月2回勉強会を続けています。

西原医院 看護師

北尾ひとみ氏



「生涯畑仕事～畑はわしの仕事場だ～」

入所中の方が骨折され「車椅子生活」になられたのですが、ご本人の「畑仕事がしたい」の希望をかなえようと、個別リハビリに取り組みました。
丹後地域リハビリ支援センターの指導を受け、リハビリ開始から約6ヶ月くらいで「畑仕事」に復帰され、外出もされるなど表情も良くなってこれれました。

グループホームよさの 主任

多賀野昇治氏



展示＆相談コーナー



最新車椅子を準備し、実際に試乗して旧型と違いを体験していただきました
協力:(株)ケアネット



歯科衛生士による展示コーナー歯周病予防、義歯の手入れ、口腔ケアの方法を紹介しました。



介護者が楽になる「滑るシリーズ」イージーライダー、マルチグローブスライディングシートなど様々な福祉用具を介助する側、される側両方の立場で体験していただきました。
協力:(株)ケアネット

講演

「相手の行動や能力を 引出すコミュニケーション」

- メッセージの伝え方は①背景・意図・ビジョン
②具体的な事実と行動③具体的な影響
④偽らざる気持ちの順で伝える

私たちの生活のほとんどが「あなたが〇〇して」という、ディレクティブメッセージ(YOUメッセージ)で会話をしています。

ディレクティブメッセージは返答内容がYes or Noにしかならない言葉となってしまいます。しかし、これをインテンショナルメッセージ(Iメッセージ)、「私は…」というように自分が主語となる言葉で会話をする事で、社会が求めている、創造性、自主性、ビジョン、コミュニケーション力など豊かな人材へと成長してゆきます。



徳山オフィス 理学療法士
講師 徳山和宏先生



リハビリ川柳 入選作品発表

丹後地域リハビリテーション支援センター
お気軽サミットin丹後2013

応募総数 174 句お気軽サミット参加者の皆様の投票により
入選作品を決定しました。たくさんの応募ありがとうございます。



佳作

お気軽サミットin丹後2013

リハビリで なみだの後の エビス顔
なぎさ苑デイケア 宮津市 尾上雪野さん
引き出して 私の持っている 底力
グループホームよさの 与謝野町 岩本尚美さん
貴方には ベンツに勝る 車椅子
生活リハビリ道場 与謝野町 山崎眞二郎さん
痛くても 生きねばならぬ 妻のため
生活リハビリ道場 与謝野町 西谷晃子さん
また来るね 嬉しい時間 すぐ過ぎる
転倒予防アドバイザー 与謝野町 仲川ひとみさん

優秀賞

お気軽サミットin丹後2013

織前で 腰をふりふり 機を織る
与謝野町リハビリ教室 与謝野町 白数晴夫さん
リハビリの 笑顔をつなぐ 道標
宮津訪問看護ステーション 宮津市 山本美郷さん
進み出す 夢の架け橋 今日一歩
太陽福祉会海山園 京丹後市 糸井良太さん

最優秀賞

お気軽サミットin丹後2013

「愛している」ボケのふりして
言ってみる
宮津訪問看護ステーション
宮津市 岡部恭子さん



入賞作品以外の川柳 はホームページで閲覧することができます。